

# 春の叙勲 都内から437人



春の叙勲の受章者が発表され、都内からは437人が選ばれた。このうち2人に喜びの声を聞いた。

◇……瑞宝単光章……◇

中野義光 さん 56 (足立区)

型枠大工

## 建物支える40年の技

鉄筋コンクリートの建物を建築する際、生コンクリートを流し込む「型枠」を作る職人だ。壁や柱、梁などに合わせて作った枠はコンクリートが固まれば外されるが、「建物の安全に関わる大事な仕事だ」と、この道40年の自負を見せる。青森県五戸町出身。「両親にお金で迷惑をかけたく

ない」と考え、高校を中退して16歳で型枠大工になった。北海道で1年間勤務した後、親族がいた足立区の建設会社を頼って上京した。平面の設計図を基に、立体的な柱などの枠を手作業で作り出す。コンクリートが流し込まれた時の圧力を予測し、設計図と誤差がな

い型枠にするには、綿密な計算と経験が必要だ。ビルやマンションを手がけることが多いが、最近、東京五輪・パラリンピックの選手村(中央区)の建設に加わった。「国を挙げての行事に参加でき、誇りに思う」と胸を張る。新技術の講習会に積極的に参加しており、「死ぬまで勉強。これからも住む人が安心して長く使える建物を造りたい」と意欲的だ。